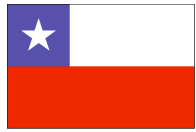


COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

03 March 2010

IN THE HEADLINES



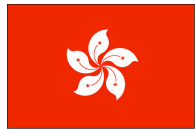
チリ

先週末に発生した記録史上最大級の地震は広範囲にわたり、インフラと人身に対して多大な被害を及ぼした。しかしチリはハイチと比べて、経済的な影響への対応を比較的行いやすい状況にあり、3月11日に新たに大統領に就任するピネラ大統領を試すものになるだろう。チリの財政状態は健全であり、債務水準も低く、外準も十分にあるため、対外収支は問題にならないはずである。ただ、経済成長に与える影響については正確に把握することは難しい。第1、2四半期のGDPは影響を受けるだろうが、復興需要がその後の成長を後押しすると思われる。とはいえ2010年全般の成長は、現時点で予測されている4.9%の成長を若干下回ることになるだろう。



ウクライナ

先週、ビクター・ヤヌコビッチ氏が大統領として宣誓された。彼のライバルのトモシェンコ首相は接戦だった選挙結果に対する法的な不服申し立てを撤回したものの、まだこの結果を受け入れようとしていない。しかし、彼女の連立与党は昨日崩壊し、本日、不信任案が可決された。ヤヌコビッチ氏は今後30日で新しい連立、60日で政府を形成する必要がある。この結果はここ5年間で政治的麻痺状態を克服するのに有用かもしれないが、IMF支援を復活させるために必要な広範な改革を実施し、深刻な経済危機を克服するのは困難が伴うと思うようだろう。



香港

2009年第4四半期実質GDP成長率は前四半期比で2.3%、前年同期比で2.6%まで加速し(第3四半期には同0.4%と-2.2%)、力強い財・サービスの輸出の伸びと、弱々しい第3四半期の後の個人消費の回復に支えられ、当初の成長予測を上回った。同じく先週発表された2010/11年の政府予算は引き続き成長を下支えするものであり、252億香港ドルの赤字を見込み(2009/10年は実際にはわずかな黒字となっている)、予算を黒字転換させるのは2013/14としている。当局は資産バブルについて過剰な懸念はしていないようであるが、インフレしたものや土地売買(奢侈取引とされたもの)に対しては増税が実施されている。2010年の経済成長は4.5%が見込まれる(2009年には-2.7%)。



コロンビア

憲法裁判所はウリベ大統領が連続3選目となる5月30日の大統領選挙に立候補するために必要とされていた国民投票は行わないとする判決を言い渡した。国民投票に対する国民の支持は落ちていたが、大統領自身の人気は圧倒的に高い。今後ウリベ氏は前国防大臣のサントス氏を支援するとみられるが、短い選挙運動期間の中で、ウリベ大統領自身の人気はどの程度サントス氏に反映されるかは不透明であり、現状の世論調査を見る限り自動的なものにはならないだろう。接戦が予想され、恐らく決選投票も行われるだろう。

ALSO IMPORTANT...



インド

先週発表された2010/11年度の予算において、顕著な引き締め政策を示唆するようなものは殆ど見受けられなかった。政府は依然として地方経済を押し上げてインフラ整備を行うことにコミットしている。目標は中央政府の財政赤字を2009/10年のGDP6.9%から5.5%まで引下げることであり、それも、歳出を減らすことではなく歳入増(民営化による収入も含む)によって達成することである。しかし、民営化の実施に関するトラックレコードは芳しくなく、全般的な財政赤字(地方政府の赤字も含む)は高い水準のGDPの8-10%にも上っている。近々金融引き締めが実施されるだろうが、これは全般的な年間GDP成長率(2010年に7-9%)には顕著な影響は与えないだろう。



アラブ首長国連邦

ドバイ政府は、USD10億ドルを節約するため、今年度の支出を15%削減する計画である。これは、1月に発表された予算の6.1%の削減に上乗せしたものである。2年連続の財政赤字が見込まれており、その規模は2010年にはUSD16億ドル程度と見られている。緊縮策は不動産価格の下落と、それに伴う建設セクターと全般的なビジネスの低迷と同時期に行われているものである。その結果として、また、ドバイワールドによる債務支払いの一時中断の要請によって資金調達コストが増加したことにより、とりわけ公益事業の分野において民間セクターの参入機会があると思われる。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ボスニア・ヘルツェゴビナ

脆弱な政治構造の結果としてシステミックな政治リスクは高く、当該地域自体も非常に不安定である。ビジネス環境は非常に弱く、商業活動も法的な後ろ盾は不十分であると認識されている。世界的な経済危機によって2009年の経済は不景気に陥り(実質GDPは3.3%縮小)、財政も悪化して、対外収支不均衡も依然として大きい。IMFの資金支援パッケージが必要で2009年中盤に承認された(11億ユーロ)。対外流動性と債務リスクは依然として高止まりしたまま、当該国は引き続き海外援助に深く依存し続けるだろう。



ブルンジ

少数民族のツチ族エリートと多数派のフツ族は不安定な関係を続けている。1993年からの内戦での死者は推定30万人にもなっている。ンクルンジザ氏と与党民主防衛国民会議・民主防衛勢力(CNDD-FDD)は2010年半ばに予定されている選挙の後も権力の座に留まると思われ、国際社会(ドナー及び国連の監視団)は政治的な移行期間中、資金的、技術的な援助を行うために滞在し続けるだろう。低所得、限定的な輸出ベース(コーヒーが輸出総額の70%近くを占める)および援助依存が、弱い経済及びビジネス環境につながっている。2010年のGDP成長率は2-4%になるだろう。

IN BRIEF

原油価格

ベンチマークのブレント原油はUSD78ドル/バレル(年初めから今日までの平均USD76ドル/バレル、2009年平均USD62.7ドル/バレル。)

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.